

NEWS LETTER

 第5号
 2014.08

KIT 男女共同参画推進センター通信

KIT男女共同参画推進センター トップセミナー 「女性研究者支援の推進と大学の活性化」を開催しました。

平成26年7月3日（木）午後、本学60周年記念館2階セミナー室にて、KIT男女共同参画推進センター トップセミナーを開催いたしました。

このセミナーは、役員や研究科長、学系長、部門長を主な対象として、本学の女性研究者研究活動支援事業をより一層推進し、男女ともにその能力を発揮し働きやすい環境等を実現するために実施いたしました。

森迫KIT男女共同参画推進センター長の挨拶に続き、独立行政法人科学技術振興機構プログラム主管（プログラムオフィサー）の山村康子氏をお招きし、「女性研究者支援の推進と大学の活性化」と題して、ご講演を行っていただきました。

日本の女性研究者の現状や国、文部科学省などによる女性研究者支援策、そしてその成果や大学の活性化について、国内外のデータや先行実践例などを示し、具体的にお話いただきました。

参加者からの質疑応答、古山学長の挨拶ののち、トップセミナーを終了いたしました。

女性研究者研究活動支援事業の最終年度にあたり、事業の推進と目標達成に向けて、有意義な時間となりました。



講師 山村康子氏



トップセミナーの様子



古山学長の挨拶

研究支援員制度の利用報告

出産・育児や介護期にある女性研究者等の研究活動を支援するため、大学院生等を研究支援員として配置することによって、ライフイベント期における研究活動の継続・進展を図る本学の両立支援制度です。配偶者が研究職等に就いている男性研究者も利用できます。平成24年度より実施しています、この制度の利用状況を報告します。

○募集案内

平成24年度は11月に、平成25年度は前期と後期に学内公募を行いました。

研究支援員制度利用実績

利用年度	利用教員数	利用事由
平成24年度	10名	育児8名・介護2名
平成25年度前期	12名	育児10名・介護2名
平成25年度後期	12名	育児10名・介護2名



研究支援員制度利用者の声

本制度利用者には利用終了後、支援内容や支援の効果などについて、ご報告いただいています。その利用実績報告書より、利用者の声を一部紹介します。

利用教員 の声



子育て中で研究に割ける時間が限られる中、支援員の配置で効率的に研究を進めることができた。

研究資料の整理及び文献調査などの業務をおこなってもらい、子育てをしながらも研究が捗った。

時間のない夕方に、実験やデータ分析をしてもらい、大変助かった。

支援員の補助のおかげで、論文の執筆やシンポジウムを滞りなく実施できた。

支援員の配置によって、業務を効率的に遂行でき、研究・教育活動に時間を使うことが可能になった。

子育て中で時間がない中、時間と労力を要する基礎研究を効率的に進めることができた。



支援員(大学院生等) の声



学業に役立つだけでなく、社会人としての基本、時間管理、自己管理の意識を身につけることができました。

研究結果だけではなく、調査や分析の進め方、経過についても知ることができ、研究について深く理解できるようになった。

支援員の仕事を通じて、担当以外の分野にも触れる機会ができ、自分の研究方法に役立った。

将来教員を目指しているため、実際の授業に関わる仕事ができ、トレーニングになっている。スキルの向上にもつながった。



支援員を経験して、自身の研究へ多角的な視点を取り入れることができた。

女性も男性も同じように仕事をもち、また男性も家庭への参加が増えてきている今、両立されている先生を身近に見ることができて、いい経験になった。



※ 研究支援員制度のご案内、利用状況、利用者の声は、センターHPにも掲載しています。

センターHP → 女性研究者支援 → 研究支援員制度 → 利用者の声

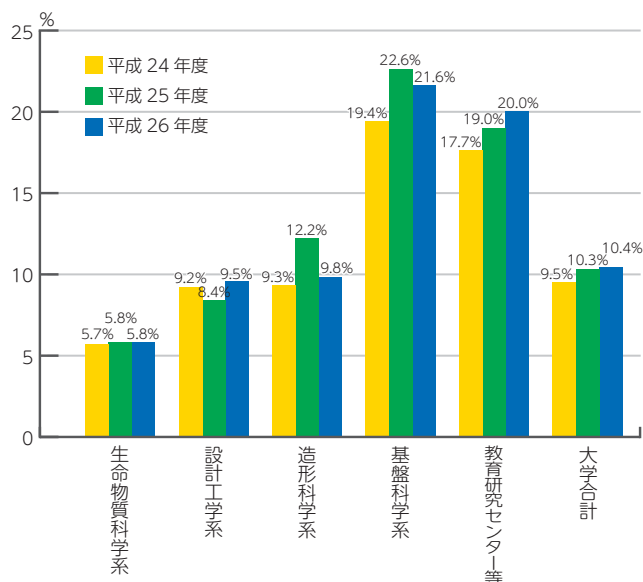
※ 制度の利用、申し込みについては、KIT 男女共同参画推進センターへお問い合わせください。



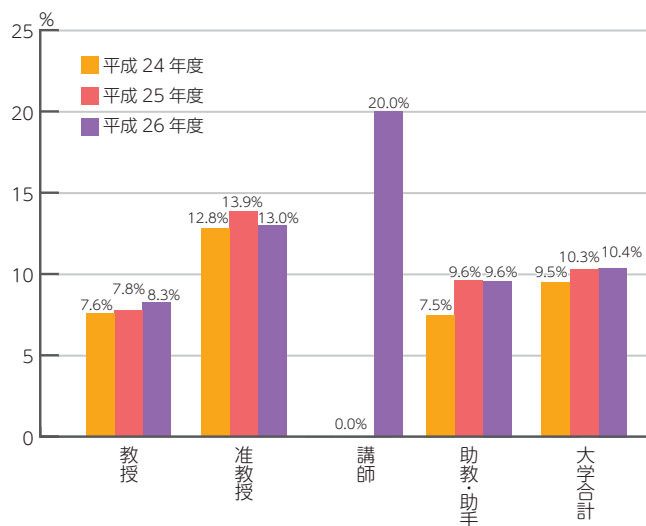
本学女性研究者の在籍データ (平成24年度～平成26年度)

※各年度5月1日現在

○学系別女性教員(常勤)の在籍比率



○職名別女性教員(常勤)の在籍比率



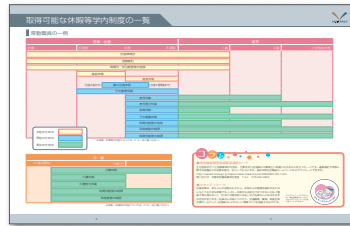
活動報告

●「仕事と育児・介護の両立支援ガイドブック」の発行

仕事と育児・介護の両立に関する学内制度や支援情報をわかりやすく1冊にまとめたガイドブックを発行しました。

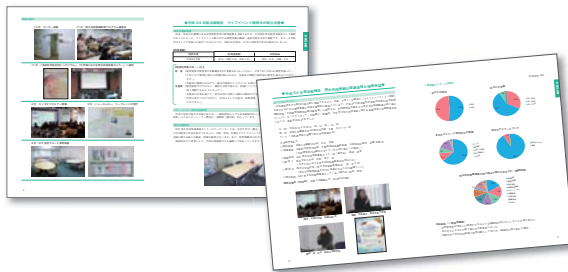
<主な内容>

- ・学内制度一覧
- ・妊娠、出産、育児期に利用できる制度と手続き
- ・介護期に利用できる制度と手続き
- ・地域における支援やサービス など



●「活動報告書（平成24年度・平成25年度）」の発行

KIT 男女共同参画推進センターの平成24年度、平成25年度の活動状況をまとめた報告書を行いました。



※両立支援ガイドブック、活動報告書の内容は、センターHPにも掲載しています。

インフォメーション

○KIT 男女共同参画推進センターセミナーの予告

平成26年10月10日（金）と11月11日（火）、本学にて「未来を創る理系のキャリアデザイン」（仮）と題して、企業や研究機関で活躍されている先輩女性をお招きして、セミナーを開催します。詳細はチラシやホームページ等でご案内します。どうぞご期待ください。

○内閣府「理工チャレンジ」サイトにメッセージ掲載

「理工チャレンジ（リコチャレ）～女子高校生・女子学生の理工分野への選択～」サイトにリコチャレ応援団体として、本学の組織概要、理工系部門の紹介および女子高校生等へのメッセージを掲載しました。



内閣府男女共同参画局 HP <http://www.gender.go.jp/c-challenge/index.html>

◇訂正

KIT 男女共同参画推進センター通信 ニュースレター第4号（平成26年2月発行）で、中面「KIT 男女共同参画推進センター第3回セミナーを開催しました」の記事、14行目、「研究と仕事の両立」とあるのは、「研究と生活の両立」の誤りでした。訂正します。

～応援します！研究と生活の両立～ ◇◇京都工芸繊維大学 KIT 男女共同参画推進センター◇◇

住所 〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町 京都工芸繊維大学 2号館南棟 1階 134号室

TEL・FAX 075-724-7757（内線 7757）

Eメール sankaku@kit.ac.jp ホームページ <http://www.sankaku.kit.ac.jp/>